

ユニットⅢ 環境保健医学実習（環境保健医学講座）

テーマ別実習

【1】教育目標

1. 地域において医学・医療に関わる環境と健康について理解する。
2. 地域における保健、医療、福祉と介護の制度の内容と運営を理解する。

【2】実習日程（期間：3年後期～4年前期）

回	年 月 日（曜日）	時 間	内 容	場 所
第1回	平成31年1月22日(火)	15:10-17:20	実習説明会とテーマ別班 決め	講義棟3階 L3講義室
第2回	平成31年2月5日(火)	15:10-17:20	事前学習	学生掲示板 にて連絡
第3回	平成31年2月19日(火)	12:50-17:20 学生掲示板 にて連絡	学外実習①	学生掲示板 にて連絡
第4回	平成31年3月5日(火)	12:50-17:20 学生掲示板 にて連絡	学外実習②	学生掲示板 にて連絡
第5回	平成31年4月9日(火)	12:50-17:20	実習のまとめと発表準備	学生掲示板 にて連絡
第6回	平成31年5月14日(火)	12:50-17:20	実習発表会①	臨床大講堂
第7回	平成31年5月17日(金)	12:50-17:20	実習発表会②	臨床大講堂
第8回	平成31年5月21日(火)	12:50-17:20	実習発表会③	臨床大講堂

【3】実習の心得

- ・単なる見学にとどまることなく、可能な限り現場を体験すること。インタビューや質問も積極的に行うこと。
- ・具体的な実習の内容や日程は、担当教員の指導を受けながら行う。
- ・学外訪問の際は、時間管理・服装・髪の毛の色・言葉遣い・態度など、医学生・成人として失礼のない姿勢で臨むこと。

【4】実習グループと担当教員

- A. 災害保健実習（神田教授・谷口助教）
- B. 産業衛生実習（神田教授）
- C. 保健所実習（久松准教授・福田助教）
- D. 子どものこころ実習（久松准教授・福田助教）
- E. 高齢者保健実習（佐藤助教）

【5】成績評価の方法

1. 実習態度及び実習報告書による。
2. 実習グループのまとまり、グループの共通理解の程度も評価の対象とする。
(同じ実習班なのに、分業して他のメンバーの実習内容が分からないような状況は避けること。)